

市議会かわらばん

2008年7月
(第74号)

(連絡先)
米子市政研究会
米子市内町 53
TEL(0859)33-6475
FAX(0859)23-0268

ご意見をお寄せ下さい

(メールアドレス) nakagawa@sanmedia.or.jp

(ホームページ) <http://www2.sanmedia.or.jp/nakagawa/>

6月議会報告

六月議会は六月六日から二七日まで開催されました。今議会では環境問題について四つの課題を取り上げました。



電磁波問題について

携帯電話中継基地局

Q 中継基地局からの電磁波によって、耳鳴りや肩こり、頭痛、めまいが起きるなどの被害が問題になり、また、白血病や脳腫瘍などの因果関係が否定できないとして、全国各地で建設反対運動が起る例も出てきている。市内でも、灘町3丁目、天神町2丁目での中継基地局設置に対して、住民が撤去、及び建設中止を求めて署名活動などを行っている。

今後中継基地局建設計画が増える予測されている。住民の健康を守り、トラブルを回避するために、設置に当たって住民への事前説明や同意を得るための事前手続きを定めた条例や要綱を策定すべ

高圧線、電化器具の電磁波被害防止

Q 昨年六月、高圧送電線などが出す低周波電磁波の人体影響について、世界保健機構(WHO)が「電磁波と健康被害の因果関係は否定できず、予防的対策が必要」との報告を公表した。「四ミリガウス以上の電磁波にさらされると、小児白血病の発症率が二倍になる」とのこと。市内いたるところに高圧送電線が張り巡らされ、八ミリガウス以上の強さの電磁波を常時浴びている地域もある。

米子市として、市民の生命と健康を守るために、電磁波被害の調査研究などの情報収集、市民への情報提供など対応策が必要と考える。見解を問う。

要望

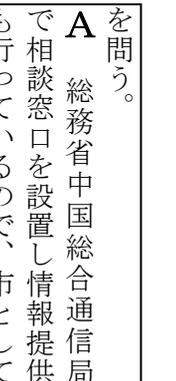
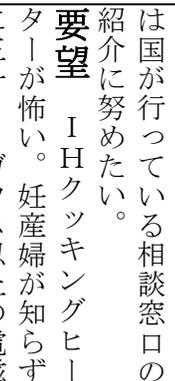
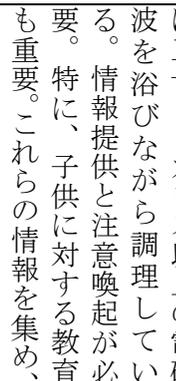
A 総務省中国総合通信局で相談窓口を設置し情報提供も行っている。市としては国が行っている相談窓口の紹介に努めたい。

要望 IHクッキングヒーターが怖い。妊産婦が知らずに三十ミリガウス以上の電磁波を浴びながら調理している。情報提供と注意喚起が必要。特に、子供に対する教育も重要。これらの情報を集め、市民に情報提供していただきたい。

環境基本計画で事業者の取り組みとして、「中継基地局を設置する場合は、シールドしたり、周辺の土地を十分確保など低減策をとる」ことを定めている。

先例市の調査と検討を。

私どもも勉強不足のところがあるので、よく研究してみたい。



灘町三丁目目設置された携帯電話局。危険性についての情報はもちろん、近隣の住民が知らないうちに突如建設された。灘町三丁目自治会はほぼ全世帯の署名を集め、NNTTドコモに対して撤去を求めている。基地局はまだ使用されていない。

ごみ減量化について

米子市焼却場への他町のごみ受け入れ

Q 米子市は、焼却施設が老朽化した日南町などの可燃ごみを、平成二三年度から五年間米子市の焼却場で受け入れることを決めたが、まだ反対の自治会もあり、完全な同意は得られてない。地元住民の一番の反対理由は、「これまで三十年以上ダイオキシン類に汚染されてきた。よそのごみを受け入れてごみ量が増えればさらに健康への影響が深刻になる」というもの。

A ごみ受け入れ要請の前に、ダイオキシン類発生の原因となるプラスチックごみなどを分別収集し、また、搬入自治体にも同じやり方を求め、地元不安を解消する努力を行うことが先決である。

A 米子市焼却場は最新の公害防止設備を設置している。排ガスは、地元との環境保全協定に基づき、さらに厳しい目標値を設定して運転管理を行い、安心・安全に万

全を期している。

Q ダイオキシンは染色体異常、発がん性、催奇性など、史上最悪の化学物質と言われている。食物連鎖で人体に取り込まれ、母乳で次世代へ受け継がれる。環境ホルモン物質として生殖機能に悪影響を与えることも明らかになっている。

学者によると、ごみ焼却で数十万〜数百万種類の膨大な熱変性物が生成される。その中には、総量でダイオキシンより毒性が高いものがあるが、規制値がないとのこと。将来、基準が変わることもある。基準以下だから完全に安全と言い切れるのか。

A 基準の変更だとか今後いろいろ出てくる可能性は否定できないが、市は、国の定めている基準を目標にやっていくことしかできない。



減量化の取り組み

Q 松江市、鳥取市は容器包装プラスチックごみを分別している。なぜ、米子市で出来ないのか。

A 収集委託だけで今より四千五百万円くらいコスト高になる見込み。その他に選別・圧縮・梱包の施設が必要。現在ごみ処理コストは年間二十五億円、うち一般財源十七億円という状況の中、さらなる負担は大変厳しい。

Q 安来市は衣類も分別している。市民が公民館等二十五箇所のリサイクルステーションへ持ち込み、焼却するより安いとのこと。米子市でも実施を。

A 分別するほどゴミが減ることはわかっているが、コストのことを考えると分別を増やすことは難しい。

Q 生ごみの堆肥化は「もう一年モデル事業を継続する」とのことだが、境港市にある企業「山陰エコシステム」では、すでに生ごみ堆肥化を行い、提携農場で使用している。剪定枝も水分調整に使うので受け入れると言っている。山陰エコシステム委託について検討したのか。

A 生ごみは収集・処理で四億円、剪定枝は千万円程度という見積もりが出ており、必ずしも安くはない。

Q 有料化の第一の目的はごみ減量化だった。経費がかかるからやらないと言うのはおかしい。有料化収入を減量化に当てるべき。

A 減量化は大切だがコストパフォーマンスも重要。リサイクル社会推進のために出来ることから実行していくということ、知恵を出していきたいと思う。

「ごみ減量市民会議」

Q ごみは燃やさない、埋めない、を基本にごみゼロ社会を目指すしか解決の道はない。一昨年、出来るだけ多くの市民の方に参加してもらって「ごみ減量市民会議」のような組織を設置することを提案した。検討状況は？

A 有料化で十七%の減量が実現している中で、さらにもっとどのような形態の組織が必要か検討していく。

松くい虫防除農薬空中散布について

Q 先日、出雲市で、農薬空中散布の直後から千人を越える児童・生徒が体調不良などを訴える深刻なできごとが発生。空散の危険性と農薬の怖さが改めて実証された。

米子市は出雲市の事故の因果関係に関する情報が不足しているとして、空散延期をいったん決断しながら、六月九、十日に実施した。出雲市は、薬理学などの専門家を入れた「原因調査委員会」を設置し、

予定として八月をめどに原因究明を続けるとのこと。延期の理由は解消してないのに、なぜ実施を決めたのか。

A ①出雲市の原因究明は八月までかかり、それを待つと松くい虫防除の適期を逸してしまうこと②本市の散布区域は山中の松林であり、人の健康への影響は極めて低いこと③地元からの強い要望があること―から実施した。

Q 空中散布される農薬ス

ミチオンは、(i)目の充血、喉の痛み、頭痛などの急性毒性、(ii)視神経障害、免疫力低下などの慢性毒性、(iii)突然変異、催奇性などの遺伝毒性、を持つことは、周知の事実。さらに、環境ホルモン作用をもつことが明らかにされている。

また、大気、水、土壌を汚染し、昆虫を無差別に殺傷するなど、自然の生態系を破壊する。農薬の毒性、生態系への影響について、市の認識を問う。

A 林野庁の調査結果によると、自然環境に対する影響は一時的又は軽微であり、許容範囲内であるとまとめられている。また、野生鳥類、昆虫類、水生生物の状況から見ても、人体への影響はないと認識している。

Q 旧米子市議会は平成九年度に、空散見直しを議会意思として確認し、当時の森田市長もやめたいとの意向を表明し、空散をやめた経緯がある。この経過を尊重すべき。

A 旧米子市では平成十一年に実施した空散直後、水質検査を行っていた地点の一つで農薬が検出されたため空散を中止し伐倒駆除で対応することとした。淀江地区は、

伐倒駆除が困難であることや隣接する市町と一体となった松林保護のため必要であると判断した。

Q 空散の一番の目的は？

A 防災・水源涵養・景観の機能を持つ松林の保護である。

Q 旧米子市でも同じような理由で十数年間も空散が続けられた。中止したが、土砂崩れは起きたか。水源に問題が起きたのか。

A 追跡調査をしていないのでわからない。

Q 「最終的には空中散布によらず、伐倒駆除を基本とした被害対策を行う」とのこれまでの方針はどうなるのか。

A 将来的には伐倒とか樹種転換に変更しなければいけないが、急に空散をやめると一度に松がやれる。

松が枯れたらそこに別の樹種が生えるので、簡単に土砂崩れは起きない。環境ホルモン学会では、鳥取県で死産児の男児割合が高いのは農薬空中散布面積の広さと関係しているのではないかという衝撃的な報告もされている。森田元市長は「私はやめたい」と意思表示し、最終的に中止した。野坂市長にも賢明な判断を求めたい。

環境基本計画について

Q 米子市は環境基本計画がないから、環境政策が弱く、容器包装リサイクル法への対応、農薬への認識、電磁波などあらゆる環境問題への対応などができていない。

環境基本条例制定から五年が過ぎた。市長は環境基本計画を定めなければならない

A 環境政策を進める上で重要な課題だと認識しているが、限られた財政・体制の中でごみ有料化などに取り組んだので、計画策定にまで至らなかった。平成二十一年度に策定作業に着手できるように取り組む。

議長選挙に立候補しました

米子市議会は申し合わせにより2年ごとに正副議長選挙を行っています。6月議会最終日の議長選挙に会派「未来」を代表して立候補しました。

「未来」は、従来から、議会が市民にとって「開かれた議会・わかりやすい議会」でなければならないという認識のもとに、「市民と議員の意見交換会」を開催してきました。その中で多くの市民の方から、「議員の活動が見えない」、「財政危機を防げなかった議会の責任は重い」などの批判が出されました。それらが議員定数や議員報酬削減を求める意見になっています。

市民の負託にこたえられる議会に変えなければなりません。そのため、議会活動をできるだけ市民に見えるようにし、議員と市民が情報を共有し、協働の考え方に立った議会運営を行うことです。このような認識にたち、この2年間、①議会インターネット中継の実施、②請願・陳情者への発言機会の提供、③議会主催のシンポジウムや公開討論会の開催、④市民団体との意見交換会の開催、⑤市議会基本条例の制定など、「未来」として議会活性化に向けてのさまざまな提案をしてきましたが、残念ながら、実現するに至っていません。

そこで、議会改革を前進させるために、自民クラブ、共産党と連携して正副議長選挙に候補者を立てましたが、3票差で敗れました。新たな正副議長には批判票をしっかりと受けとめ、議会改革を進めていただきたいと思います。

(議長選挙結果)

中村昌哲(新風) 16票 / 中川健作(未来) 13票

(副議長選挙結果)

中田利幸(新風) 16票 / 藤尾信之(自民ク) 13票



主な議案・陳情に対する全議員の賛否一覧(6月議会)

- ①一般質問を行った議員(20人)
- ②市税条例の一部を改正する条例(可決)
- ③鳥獣捕殺ではなく自然林復元と被害防除を求める意見書提出に関する陳情(不採択)
- ④ミニマムアクセス米の輸入停止を求める陳情(不採択)
- ⑤最低賃金の引き上げと制度のさらなる改正を求める陳情(不採択)
- ⑥後期高齢者医療制度の廃止を求める陳情(3件)(不採択)

会派	氏名	①	②	③	④	⑤	⑥	会派	氏名	①	②	③	④	⑤	⑥	会派	氏名	①	②	③	④	⑤	⑥
新風	岩崎 康朗	◎	○	×	×	×	×	新風	渡辺 照夫	◎	○	×	×	×	×	自民クラブ	宮田 誠		○	×	×	×	×
"	内田 隆嗣	◎	○	×	×	×	×	未 来	伊藤ひろえ	◎	○	○	○	○	○	"	矢倉 強	◎	○	×	×	×	×
"	竹内 英二	◎	○	×	×	×	×	"	門脇 邦子	◎	○	○	○	○	○	公明党	筈谷 悦子	◎	○	×	×	×	×
"	谷本 栄		○	×	×	×	×	"	八幡 美博	◎	○	○	○	○	○	"	原 紀子	◎	○	×	×	×	×
"	中田 利幸	◎	○	×	×	×	○	"	森 雅幹	◎	○	○	○	○	○	"	安木 達哉		○	×	×	×	×
"	中村 昌哲		○	×	×	×	×	"	中川 健作	◎	○	○	○	○	○	"	安田 篤	◎	○	×	×	×	×
"	野坂 道明	◎	○	×	×	×	×	自民クラブ	尾沢 三夫	◎	○	×	×	×	×	共産党	岡村 英治	◎	×	○	○	○	○
"	松田 正	◎	○	×	×	×	×	"	中本 実夫		○	×	×	×	×	"	松本 松子	◎	×	○	○	○	○
"	吉岡 知巳	議					長	"	藤尾 信之		○	×	×	×	×	一院クラブ	遠藤 通	◎	○	×	×	○	○
"	渡辺 穰爾		○	×	×	×	×	"	松井 義夫		○	×	×	×	×								



「市議会かわらばん」は、中川健作(無所属市民派)の議会報告です。年4回、定例市議会(3、6、9、12月)終了後に発行しています。

毎号御希望の方には無料で郵送してまいりますので、ご連絡下さい。また、内容についてのご意見、市政への提言等お寄せ下さい。出前市政報告会も行っております。少人数でもお申し込み下さい。

電磁波測定器を貸し出します(無料)

低周波測定器(左)は送電線・家電製品などの電磁波を測定します。高周波検知器(右)は携帯基地局の電磁波を測定します。電磁波を少しでも避けるために、身の回りの電磁波を測ってみませんか。ご希望の方は、33-6475までご連絡ください。



議員報酬会計報告 (2008年1月~6月)

(収 入)		(支 出)	
前月からの繰り入れ	△22,921	議員共済掛け金	476,475
報酬	2,640,000	所得税	193,467
44万円×6ヶ月		住民税	347,300
一時金	985,600	国保料	285,700
カンパ	3,000	印刷費	10,794
合計	3,605,679	通信費	115,277
※カンパをお寄せいただき、ありがとうございました。		資料代	18,880
※前号で12月末の繰越金が間違っていました。		活動費	369,211
※議員報酬会計の使途は常に公開しています。		中川生活費	2,000,000
		25万円×6ヶ月+一時金2ヶ月	
		次月繰越金	△211,425
		合計	3,605,679

カンパのお願い

会計報告のとおり、赤字が20万円を越えてしまいました。ご支援いただいたみなさまへの当然の義務としてこれからも市議会報告をお届けしたいと思っておりますが、年間100万円近い報酬の削減で厳しい状況です。諸物価高騰の折、大変心苦しいのですが、「市議会かわらばん」発行カンパをお寄せいただければ助かります。

もちろん、カンパはあくまで任意であり、強制ではありません。カンパに関係なく、これまでどおり無料郵送させていただきます。カンパをしていただければ同封の振込用紙をご利用ください(振込料が無料)。よろしくお願ひ申し上げます。

※「市議会かわらばん」は環境を考え、古紙再生紙、大豆油インキを使用しています。